

# 名経大とつくる 地域のげんき!

[特集]

地域と一緒に盛りあがろう!!

- 石上祭
- 犬山の新メニュー「石上げピラフー」
- 第21回楽田夏まつり
- 名経祭がハイキングコースに

地域とともに学ぼう!

- オープンカレッジ2017
- 小牧市ゆうゆう学級

地域の未来を応援!

- 衆議院議員選挙期日前投票事務体験
- ミニトマト栽培事業



犬山商工会議所  
青年部



名古屋経済大学  
管理栄養学科



## 犬山学研究センター

- 第4回地層勉強会
- 犬山学研究センターシンポジウム

## 石上げピラフー



# 地域と一緒に盛りあがろう!

## いしあげまつり 石上祭

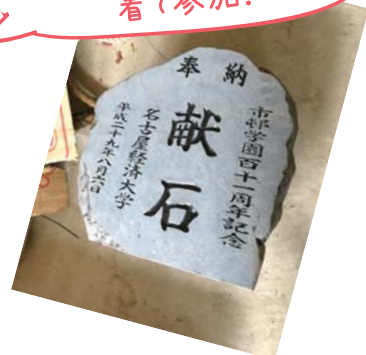
天下の奇祭と呼ばれる「石上祭」。石を担ぎ尾張富士山頂を目指します。今年も留学生・日本人学生・教職員40名が参加し力を合わせて山頂に献石しました。



2017(平成29)年8月6日(日)  
犬山市:尾張富士

## まつり コラボ

今年はお法被(はっぴ)を着て参加!



## 犬山の新メニュー「石上げピラフ」

～犬山市産業振興祭に出店～

「(自称)おじさんたちでも簡単に作れて」「見た目も可愛く」「石上祭をイメージしたピラフを」という企画を、犬山商工会議所青年部が管理栄養学科に持ち込んで、夏から共同開発が始まりました。打ち合わせを重ねようやく完成した「石上げピラフ」。犬山市産業振興祭(わいわい犬山フェスティバル)では準備した90食を売り上げました。

2017(平成29)年  
10月15日(日)

犬山市:犬山市民文化会館

## まつり コラボ

犬山商工会議所青年部

×名経大



犬山市長  
試作品見学!



今回大学との初めての連携事業ということで、当初不安もたくさんありましたが、快くお受け頂き、また打ち合わせを重ねる度に予想を遥かに上回る結果を出して頂き、心より感謝申し上げます。

たえ青年部とは言え、おじさんの集まり。やはり大学生の発想と行動力にはかないませんでした。ご指導を頂きました先生にも御尽力を頂き感謝申し上げます。ここからがスタートだと思っています。

今後も連携を継続し取組みを深めていきたいと思ひます。

犬山商工会議所青年部 平成29年度会長 ● 奥村 康祐

我々青年部の「石上げピラフ」を作りたいという思いに学生4名が真剣に考えてくれた事に感動しました。そして女性特有の感性で見栄え、SNS映えする商品にまで仕上げていただいた事にも感謝しております。振興祭当日、みなさんが笑顔で「石上げピラフ」を販売してくれた姿がとても印象に残りました。

犬山商工会議所青年部 平成29年度渉外委員会委員長 ● 丹羽 佑介

ゼミの先生からメニュー開発に参加してみないかと声をかけられ、仲間とともに考え一緒に作り上げたことは、大変貴重な体験となりました。犬山商工会議所の方々は、常に自分たちの意見を丁寧に聞き入れてくれました。「石上げピラフ」の取組みを通して、完成までは難しかったけど楽しかったという充実感がありました。

管理栄養学科2年 ● 藤本 真夜



# 地域と一緒に盛りあがろう！

## 第21回 楽田夏まつり

2017(平成29)年8月5日(土)  
犬山市：青塚古墳

昨年に続き「楽田地区」のお祭りに、教育保育学科文化児童サークル「いろは」が手作りの遊びコーナーを設けました。用意したお菓子の景品は1時間もたわずに品切れとなる程の好評で、学生たちは地域の子どもたちと一緒に夏のひとときを楽しみました。

楽田コミ×名経大  
まつりコラボ



何度も繰り返し遊びに来てくれる子どもいて、自分たちが作ったもので楽しそうに遊んでもらえて嬉しかったです。私達もすぐに緊張が解け、子ども達に話しかけることができました。とても楽しく、充実感が味わえました。

教育保育学科1年 ●小島 和紗 / 酒井 菜々美

## 名経祭がハイキングコースに ～楽田コミュニティとの連携～

2017(平成29)年10月14日(土)  
楽田ふれあいセンター・  
名古屋経済大学

名鉄ハイキング×楽田コミ  
×名経大  
コラボ



楽田  
いろ  
いろ  
いろ  
な  
企  
画  
で  
お  
も  
て  
な  
し

10月14日(土) 天気心配される中、朝10時の「菓子投げ」をスタートに第7回ふれあいセンター「しろやま」まつりを開催しました。ステージ発表や作品展示、地域商店や団体の模擬店など、多くの方に参加いただきました。警察署や消防署の協力のもと「町のヒーロー大集合!」と称し、ちびっこ達が消防車に試乗をしたり、警察官の制服を着て記念撮影も行いました。

無料提供の綿菓子・ポップコーン・豚汁などは、いつも大繁盛。名鉄ハイキングのハイカーに「豚汁」を召し上がっていただき、「美味しかったよ」という声や笑顔を見ることができ、とても有意義な一日となりました。

「犬山市産業振興祭」と「名経祭」が同時開催されて5年目にあたる本年、両会場をめぐる「名鉄ハイキング」が開催されました。これにあわせ、楽田コミ主催の「しろやま」まつりも行われ、地域をあげてハイカーをお迎えしました。

楽田コミュニティ会長 ●森岡 万朱衣

# 地域とともに学ぼう!

犬山市教育委員会×名経大 **コラボ**

## オープンカレッジ2017

犬山市民総合大学敬道館の中で「名古屋経済大学オープンカレッジ」として4回 講座を開催しました。  
本年は20代から80代と幅広い世代の方々に受講頂きました。

**第1回 9/9(土)『恋愛の三角関係がわかれば、マーケティングの本質がわかる』** 経営学部准教授 徐 誠敏(ソ・ソンミン)  
恋愛の三角関係と経営学との関係性を楽しくわかりやすく解説しました。

**第2回 10/14(土)『古くて新しい地理学』** 経済学部准教授 佐藤 正之  
地図を「よむ」ことを例に、紙の地図でもスマホでもその役割と空間的思考の大切さについて解説しました。

**第3回 10/15(日)『「税法」へのご招待』** 法学部准教授 山田 麻未  
「法律」は「難しい」と思われる固定概念を変えてもらおうと「基本的知識」をわかりやすく説明し、  
受講者からは多くの質問が寄せられました。

**第4回 11/11(土)『教育とは何かー教育・子育ての理論と実際ー』** 人間生活科学部准教授 田中 秀佳  
授業中の居眠りという「教育問題」を、乳幼児から青少年期の発達や日本の学校制度の特質を手がかりに解明し、  
日本の教育・子育て問題をどうとらえるか受講者とともに考えました。



### ～受講者の声(アンケートから)～

- ・様々なジャンルで楽しく学びたい。
- ・若い研究者(教員)の話が聞いてよかった。
- ・オープンカレッジを継続し、さらに拡大してほしい。
- ・オープンカレッジを機会にして、生涯学び続けたいと思う。
- ・普段若い人達(大学生)とふれあう機会が少ないので、  
オープンカレッジと大学祭の両方にでかけることができとても楽しい時間が過ごせた。



## 小牧市ゆうゆう学級

「ゆうゆう学級」とは一人ひとりが生きがいのある人生を送るために、高齢期の健康問題・現代社会に対応できる知識の習得・仲間づくりを目指して行われている小牧市の生涯学習事業の一つです。  
両日共約30名の受講者がグループにわかれ、管理栄養学科・上延麻耶准教授の指導のもと、アシスタント学生ともコミュニケーションを取りながら終始笑顔溢れる講座となりました。

2017(平成29)年  
8月10日(木) 24日(木)  
名古屋経済大学

**コラボ**

小牧市教育委員会  
×名経大

**第1回 8/10(木)味岡市民センター主催**  
『今日から実践!若さを保つための食事のヒケツ』

**第2回 8/24(木)小牧市公民館主催**  
『健康な生活を送ろう・健康料理教室』



男性の方も慣れた手つきで  
着々と調理をしています。



作り方を確認しながら  
作業を進めます。



# 地域の未来を応援！

## 衆議院議員選挙 期日前投票事務体験

～みんなで選挙に行こう！（体験をSNSで発信）～

全国的な期日前投票制度の浸透に加え、選挙当日が台風との予報もあり体験日の19日、20日には多くの有権者が投票に訪れました。多忙な中、学生に指導をしていただきました選挙管理委員会事務局・明るい選挙推進協議会のみなさま、ありがとうございました。

テレビ等の報道で10代20代の投票が少ないとよく聞けれど、実際に期日前投票事務の仕事をして実感しました。期日前投票事務を体験したことで、選挙の流れがわかり前回の投票より行きやすくなったと思います。

法学部1年 ● 安島 佑佳

投票事務には前もっての知識が必要で準備が大変だと感じました。投票に来る人は圧倒的に年配の人が多く、これからの未来を考えると本当に若い人が選挙に行った方が良いということが分かりました。

経営学部1年 ● 大倉 真千子

期日前投票事務体験で雰囲気も仕組みも学べ、貴重な体験ができたと思いました。この体験を通し、もっと政治の事、選挙の事が知りたいと思いました。将来選挙や投票についてわかりやすく教えられる人になりたいです。

法学部1年 ● 洞口 真奈美



2017(平成29)年  
10月19日(木) 20日(金)  
犬山市役所

犬山市選挙管理委員会  
× 名経大

コラボ

犬山市では投票所の雰囲気を  
和らげるため会場内に  
音楽が流れています



今回が初めての投票だったので、選挙の雰囲気と投票の仕方を学びたくて参加しました。高齢者の方がばかりが投票に来ていて若い人が来ると逆に珍しいなと思うほどで深刻な問題であることを初めて実感しました。今回の投票事務体験を通して知った若者の投票率の少なさをSNSで伝えたいと思い、自分が選挙に行ったことをアピールします。これからも投票事務体験は継続してほしいし、多くの人に参加してほしいと思いました。貴重な体験をありがとうございました。

経営学部1年 ● 加藤 綺子

## ミニトマト栽培事業

～ビジネスモデルを考える～

犬山市役所産業課から、犬山市シルバー人材センターがアイメック農法によるミニトマトの栽培事業を始めるにあたり、事業コンセプトについて若者の意見を聞きたいというお話をいただきました。犬山市職員、シルバー人材センターの方に大学にお越しいただき、学生たちはトマトを試食しながら共同でコンセプトを考え、学生ならではの発想を積極的に提案しました。



経営学部1年  
山下先生、大曾先生の  
ゼミ生「トマト」試食中

2017(平成29)年10月11日(水)  
名古屋経済大学

犬山市×シルバー人材センター  
× 名経大

コラボ



犬山市地域農業活性化事業(新しい農法でのトマト栽培)にかかる販路先およびPR方法について活発な討論ができました。学生のみなさんの積極かつ幅広い視点から数多くの提案を頂き、教えられることの多い授業でした。ありがとうございました。今後も協力をよろしく願います。

公益社団法人犬山市シルバー人材センター副会長 ● 堀田 肇

# 犬山学研究センター

## 第4回 地層勉強会

～木曾川の地層を船から見てみよう～

犬山学研究センター主催の第4回勉強会は、犬山市長はじめ行政職員、企業、観光関連の方々にご参加いただきました。講師は名古屋大学PhD登龍門推進室の足立守特任教授、名古屋大学博物館の高橋裕平特任教授。第1回、第2回の勉強会で深めた地層の内容について船の上から新たな観光資源の発掘や教育材料への検討を行いました。



2017(平成29)年  
10月2日(月)  
犬山市：木曾川畔



講師  
名古屋大学博物館  
高橋 裕平特任教授

講師  
名古屋大学PhD登龍門推進室  
足立 守特任教授



## 犬山学研究センターシンポジウム

2017(平成29)年  
10月21日(土)  
博物館明治村

犬山は古来より尾張・美濃・飛騨・信濃を結ぶ商業・文化・情報の結節点として栄え、川の文化と山の文化が交わる「犬山文化圏」とも言うべき独自の文化を形成してきました。このような犬山の多面的な魅力を研究するために、「犬山学研究センター」を設立しました。

センターでは研究・教育活動を通して、深い地域理解を持って地域の問題解決に取り組むことができる人材、そして日本の歴史・文化・社会をアジアとの比較において理解し、地域の国際化に貢献できる人材を育成する「地域再生と人づくり」の拠点となることを目指します。その設立を記念して博物館明治村でシンポジウムを開催し、歴史・自然・政策の三つの側面から犬山の魅力に迫りました。当日は各界より150名の方にご参加いただきました。



シンポジウム会場：  
聖ガビエル天主堂



レセプション会場：  
帝国ホテル

左から末岡市邨学園理事長、原愛知県会議員、山田犬山市長、大村愛知県知事、成瀬犬山城白帝文庫理事長、佐分名古屋経済大学学長、日比野犬山商工会議所会頭



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学・短期大学部

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL: 0568-68-3282

FAX: 0568-67-0724

MAIL: chiiki-c@nagoya-ku.ac.jp

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL: 0568-67-0511(代表)